

経済統計にみる日本経済

太田正行 東京都立荒川商業高等学校教諭

1 新聞活用のねらい

- ①日本経済の現状を理解するには、教科書や資料集だけではなく、経済に関する新聞記事を読み、まず興味・関心を高めることが不可欠である。
- ②新聞に掲載される日本経済に関する最新の統計類を学習することにより、今日の日本経済を動的にとらえることができる。
- ③さまざまな経済統計を学ぶことにより、日本経済を多角的・多面的にとらえることができる。

2 授業構成

(1～2時間)

ねらい

- ①「失業率4.3%」の記事について内容を理解させる。

- ②2つの記事を比較検討させる。

- ③完全失業率、有効求人倍率について理解させる。

- ④「年齢別完全失業者数」の棒グラフと「失業率と求人倍率の動き」の折れ線グラフで具体的に理解させる。

- ⑤日本経済の現況を表す統計には、失業率のほかにもどのようなものがあるのかを考えさせる。

おもな学習活動

- ①「失業率4.3%」の記事を読み、その内容を要約する。

資料▶ 1 2

指導の
ポイント

失業率4.3%の記事について、リード文をまとめたり、本文を段落ごとにまとめるなど、要約の仕方を指導する。

- ②記事を比較して、見出しの付け方や図版の扱いの違いなどを話し合ったり書き出したりする。

資料▶ 1 2

指導の
ポイント

資料1の見出しは働き盛りが高水準になっていることを強調しているのに対して、資料2の見出しは女性が0.3ポイント上昇したこと、失業手当の受給者が100万人を超えたことを強調している。また、資料1は、年齢別完全失業者数を、資料2は男女平均と女性の失業率の推移と有効求人倍率の推移を示すグラフを掲載している。毎月発表される失業率をグラフ化させ、そこから何が読み取れるか指導する。

- ③完全失業率・有効求人倍率の意味、計算の仕方を教科書や資料などで調べる。

資料▶ 3

指導の
ポイント

日本国の失業率の定義は、外国と異なることを指摘し、国際比較をする際には注意させる。

- ④「年齢別完全失業者数」を読み取り、特色をまとめてその原因について考えてみる。また、「失業率と求人倍率の動き」を読み取り、その特徴をまとめる。

資料▶ 1 2

指導の
ポイント

60歳の失業者が多いのは定年退職で失業保険を申請するためであることを注意させる。

- ⑤資料4に掲載されている指標について、それに関する記事を探しスクラップする。

資料▶ 4

指導の
ポイント

完全失業率のほか、物価指数や百貨店販売額、家計消費支出、鉱工業指数、国際収支などは経済面に毎月掲載されるので注意して記事を探すよう指導する。

